

令和8年度トキ放鳥に向けた放鳥ケージ等の仕様詳細

<放鳥ケージ>

項目	仕様
構造	<ul style="list-style-type: none"> くさび繋結式足場を利用すること。 ケージのサイズは長さ19.8m、奥行き9.0m、高さは3.6mと同程度のものとすること。 一般に流通している汎用品により構成すること。 台風等の気象条件下でもある程度の耐久性を有すること。
棟数	<ul style="list-style-type: none"> 1棟
止まり木	<ul style="list-style-type: none"> 別添2「佐渡 放鳥ケージ仕様」を参考に、現地の立地に合うよう、委託者と相談の上、制作すること。
給排水施設	<ul style="list-style-type: none"> 給餌用のドジョウを入れるたらいを設置すること。 給排水システムについて現地の立地を踏まえた構造とすること。
衝突防止ネット	<ul style="list-style-type: none"> 構造は別添1「構造イメージ」を参考とすること。 ケージを構成する鋼材等に衝突しないように衝突防止ネットを設置すること。 ネット設置後の飼育空間が長さ17.4m、奥行き6.6m、高さ3.0mを確保すること。
放鳥口	<ul style="list-style-type: none"> 放鳥口について、現地の立地に合うよう、委託者と相談の上、設置箇所を決めること。 放鳥口は、安全ネットを上部に巻き上げることが出来るようにし、衝突緩衝ネットはファスナーで横と上部をL字型に開けることが出来るようにすること。
監視カメラ	<ul style="list-style-type: none"> ケージ全体・内部を確認出来るよう、S I Mカメラを設置すること。 天敵の接近、進入を確認出来るよう、ケージの四辺にトレイルカメラを設置すること。
獣害対策	<ul style="list-style-type: none"> 構造は別添1「構造イメージ」を参考とすること。 放鳥ケージの全面を野生生物の侵入を防止するためのネットで被覆し、さらに放鳥ケージへの接近を阻止するための電気柵を適切な位置に設置すること。 合板のテン返しを設置すること。（設置位置は別添2を参照） きつね等が穴掘りを介してケージ内へ侵入しないよう対策を講じること。
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> 別添2「佐渡 放鳥ケージ仕様」を参考にすること。